

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クレオ
 コード番号 9698 URL <http://www.creo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大矢 俊樹
 (氏名) 雨田 高志

TEL 03-3445-3500

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 1,988 | 9.5 | △78 | — | △79 | — | △93 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 1,816 | △4.1 | △309 | — | △303 | — | △362 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △93百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △362百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | △10.50 | — |
| 23年3月期第1四半期 | △40.90 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 5,158 | 3,810 | 73.7 | 429.23 |
| 23年3月期 | 5,738 | 3,901 | 67.9 | 439.69 |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,804百万円 23年3月期 3,897百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,900 | 11.6 | 20 | — | 20 | — | 10 | — | 1.10 |
| 通期 | 10,400 | 9.5 | 150 | 413.1 | 150 | 250.2 | 100 | — | 11.28 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 9,237,319 株 | 23年3月期 | 9,237,319 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 374,067 株 | 23年3月期 | 372,937 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 8,863,468 株 | 23年3月期1Q | 8,865,949 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |
| (6) 重要な後発事象 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、生産・輸出においては上向きの動きが見られ、企業収益は増勢が鈍化し、設備投資は下げ止まりつつあるなど改善の傾向が見受けられる状況にありましたが、雇用情勢については依然として厳しい状況が続きました。

当業界におきましても、震災による顧客の情報化投資の縮小、延期等、設備投資を抑制する動きが続いており、下げ止まりの動きは見えるものの、受注環境は厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループはスピード感を持った経営体制に変更する為、平成23年4月1日付で当社は持株会社となり、ガバナンス及び株式関係に関する事業を除くすべての事業を4つの事業会社（新設分割設立会社3社、吸収分割承継会社1社）に移管承継し、既存子会社2社（子会社の子会社を含む）を含む6社にて当社グループの新体制を発足させております。

以上の結果、売上高は、19億88百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業損失は、78百万円（前年同四半期は営業損失3億9百万円）、経常損失は、79百万円（前年同四半期は経常損失3億3百万円）、四半期純損失は、93百万円（前年同四半期は四半期純損失3億62百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりです。

なお、当社グループは、平成23年4月1日付の会社分割により、下記の形にセグメントを変更しております。

| セグメント名称 (セグメントに該当する子会社) | 主要な事業の内容 (会社分割前の事業および組織名称) |
|--|--|
| クレオマーケティング事業 (株式会社クレオマーケティング) | ZeeM/CBMS製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供 (ZeeM事業/トヨタビジネス推進室・プロダクト事業部・マーケティング統括部 関西事業/関西システム事業部 管理本部/管理本部 ※ガバナンス及び株式関係に関する事業を除く) |
| クレオソリューション事業 (株式会社クレオソリューション) | システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発 (システム開発事業/システム開発事業部・ソリューション事業部 モバイル事業/モバイル事業部) |
| 筆まめ事業 (株式会社筆まめ) | はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売 (コンシューマサービス事業/筆まめサービス事業部) |
| クレオネットワークス事業 (株式会社クレオネットワークス) | ICT基盤サービスプラットフォームとWebToPrintプラットフォームの提供 (株式会社クレオネットワークス ZeeM事業/ICTサービス事業部) |
| クリエイトラボ事業 (株式会社クリエイトラボ 株式会社ヒューマン・ネットワーク) | ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス及び教育の受託 (株式会社クリエイトラボ、株式会社ヒューマン・ネットワーク) |

クレオマーケティング事業については、前期より引き続き「人事給与」「会計」「人材開発」「就業管理」製品の新規顧客開拓および品質強化に努めたことにより、売上については微減、利益については増益となりました。

その結果、売上高は4億97百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益9百万円（前年同四半期は営業損失1億42百万円）となりました。

クレオソリューション事業については、厳しい市況環境の中、既存顧客との関係強化ならびトラブルプロジェクト防止を徹底した結果、前年同四半期より売上・利益ともに増加となりました。

その結果、売上高は7億15百万円（前年同四半期比16.9%増）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）となりました。

筆まめ事業については、2011年2月に発売したDTPソフト「パーソナル編集長Ver. 9」と2011年4月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer. 21夏版」を中心に出荷をいたしました。しかし、売上・利益共に東日本大震災の影響による買い控えの影響で前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は1億14百万円（前年同四半期比9.8%減）、営業損失47百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

クレオネットワークス事業については、データセンタやSIer向けの統合運用管理サービスである「Z e e Mサービスデスク」を中心に商談数増加・受注拡大に取り組んだ結果、売上は大きく増加いたしました。しかし、利益に関しては受託請負案件にて不採算プロジェクトが発生した結果、前年同四半期に比べ減少となりました。

その結果、売上高は91百万円（前年同四半期比24.3%増）、営業損失56百万円（前年同四半期は営業損失46百万円）となりました。

クリエイトラボ事業については、厳しい市況環境に適應するべく、情報収集と営業活動を強化し商談数増加や受注確度向上に努めた結果、前年同四半期に比べ売上・利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は5億69百万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益36百万円（前年同四半期比36.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億9百万円の減少となりました。

これは主として受取手形及び売掛金の減少によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、70百万円の減少となりました。

これは主として差入保証金の減少によるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、4億85百万円の減少となりました。

これは主として買掛金及び未払金の減少によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、90百万円の減少となりました。

これは主として四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関しましては、平成23年4月28日付け「平成23年3月期決算短信」において公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

しかしながら、リスクや不確実性を含んでおり、そのための様々な要因の変更により、大きく異なる結果になる可能性があります。第2四半期連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

(1) クレオマーケティング事業については、新規顧客の獲得の遅れが生じた場合、あるいは第2四半期連結会計期間に予定しているライセンス販売等の検収が下期にずれ込む場合には予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

(2) クレオソリューション事業については、事業の性質上第2四半期連結会計期間末月に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が下期にずれ込む可能性があります。また、今後の開発状況によっては不採算プロジェクトが顕在化する可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は平成23年4月1日付でガバナンス及び株式関係に関する事業を除くすべての事業を4つの事業会社（新設分割設立会社3社、吸収分割承継会社1社）に移管承継し、その他の既存子会社を含む持株会社制に移行しております。

新設分割に関してはZ e e M事業のトヨタビジネス推進室、プロダクト事業部、マーケティング統括部、関西システム事業の関西システム事業部及び管理本部（ガバナンス及び株式関係に関する事業を除く。）を新設分割により設立される株式会社クレオマーケティングに、システム開発事業のシステム開発事業部、ソリューション事業部及びモバイル事業のモバイル事業部を新設分割により設立される株式会社クレオソリューションに、コンシューマ事業の筆まめサービス事業部を新設分割により設立される株式会社筆まめにそれぞれ承継いたしました。

吸収分割に関してはZ e e M事業のICTサービス事業部を既存子会社の株式会社クレオネットワークスへ承継いたしました。（株式会社クレオスマイルは平成23年1月18日に商号を株式会社クレオネットワークスに変更しております。）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,495 | 2,557 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,921 | 1,167 |
| 商品及び製品 | 27 | 23 |
| 仕掛品 | 232 | 324 |
| その他 | 179 | 274 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 流動資産合計 | 4,852 | 4,343 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 154 | 171 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 48 | 36 |
| その他 | 355 | 405 |
| 無形固定資産合計 | 403 | 441 |
| 投資その他の資産 | 327 | 202 |
| 固定資産合計 | 885 | 815 |
| 資産合計 | 5,738 | 5,158 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 310 | 219 |
| 短期借入金 | 29 | 29 |
| 未払法人税等 | 30 | 5 |
| 賞与引当金 | 246 | 211 |
| 返品調整引当金 | 80 | 68 |
| 資産除去債務 | 65 | — |
| その他 | 963 | 707 |
| 流動負債合計 | 1,727 | 1,241 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5 | 2 |
| 退職給付引当金 | 5 | 3 |
| 未払役員退職慰労金 | 33 | 28 |
| 資産除去債務 | 51 | 51 |
| その他 | 14 | 20 |
| 固定負債合計 | 109 | 106 |
| 負債合計 | 1,836 | 1,347 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,149 | 3,149 |
| 資本剰余金 | 1,428 | 743 |
| 利益剰余金 | △557 | 33 |
| 自己株式 | △122 | △122 |
| 株主資本合計 | 3,897 | 3,804 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 0 | 0 |
| 少数株主持分 | 4 | 6 |
| 純資産合計 | 3,901 | 3,810 |
| 負債純資産合計 | 5,738 | 5,158 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,816 | 1,988 |
| 売上原価 | 1,555 | 1,559 |
| 売上総利益 | 260 | 429 |
| 販売費及び一般管理費 | 570 | 507 |
| 営業損失(△) | △309 | △78 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| 助成金収入 | 2 | — |
| その他 | 3 | 1 |
| 営業外収益合計 | 6 | 1 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 0 | 2 |
| 経常損失(△) | △303 | △79 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1 | — |
| その他 | — | 0 |
| 特別利益合計 | 1 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 38 | — |
| その他 | 1 | 2 |
| 特別損失合計 | 40 | 2 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △342 | △80 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3 | 1 |
| 法人税等調整額 | 16 | 11 |
| 法人税等合計 | 19 | 12 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △362 | △93 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 0 | △0 |
| 四半期純損失(△) | △362 | △93 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △362 | △93 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △0 | △0 |
| その他の包括利益合計 | △0 | △0 |
| 四半期包括利益 | △362 | △93 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △362 | △93 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 0 | △0 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | システム 開発事業 | Z e e M 事 業 | コンシューマ 事 業 | モバイル 事 業 | サポート & サービス 事 業 | 合計 |
|-----------------------|--------------|----------------|---------------|-------------|-----------------------|-------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 681 | 459 | 127 | 49 | 498 | 1,816 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 29 | 6 | — | — | 93 | 128 |
| 計 | 710 | 465 | 127 | 49 | 591 | 1,945 |
| セグメント利益又は損失(△) | △40 | △90 | △16 | △19 | 26 | △140 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | △140 |
| セグメント間取引消去 | △12 |
| 全社費用(注) | △157 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | △309 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | クレオ マーケティング 事業 | クレオ ソリューション 事業 | 筆まめ 事業 | クレオ ネットワークス 事業 | クリエイトラボ 事業 | 合計 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------|----------------------|---------------|-------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 497 | 715 | 114 | 91 | 569 | 1,988 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 40 | 4 | 0 | 35 | 122 | 202 |
| 計 | 537 | 719 | 115 | 127 | 691 | 2,191 |
| セグメント利益又は損失(△) | 9 | △1 | △47 | △56 | 36 | △59 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|--------------------|-----|
| 報告セグメント計 | △59 |
| セグメント間取引消去 | △31 |
| 全社費用及び利益（注） | 12 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △78 |

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料収入等であります。

3. 事業区分の変更

事業区分については、平成23年4月1日付の会社分割により、下記の形を変更しております。

| セグメント名称 (セグメントに該当する子会社) | 主要な事業の内容 (会社分割前の事業および組織名称) |
|--|--|
| クレオマーケティング事業 (株式会社クレオマーケティング) | ZeeM/CBMS製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供 (ZeeM事業/トヨタビジネス推進室・プロダクト事業部・マーケティング統括部 関西事業/関西システム事業部 管理本部/管理本部 ※ガバナンス及び株式関係に関する事業を除く) |
| クレオソリューション事業 (株式会社クレオソリューション) | システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発 (システム開発事業/システム開発事業部・ソリューション事業部 モバイル事業/モバイル事業部) |
| 筆まめ事業 (株式会社筆まめ) | はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の 企画・開発・販売 (コンシューマサービス事業/筆まめサービス事業部) |
| クレオネットワークス事業 (株式会社クレオネットワークス) | ICT基盤サービスプラットフォームとWebToPrintプラットフォームの提供 (株式会社クレオネットワークス ZeeM事業/ICTサービス事業部) |
| クリエイトラボ事業 (株式会社クリエイトラボ 株式会社ヒューマン・ネットワーク) | ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス及び教育の受託 (株式会社クリエイトラボ、株式会社ヒューマン・ネットワーク) |

なお、当第1四半期連結累計期間と同じ事業区分によった場合の前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は以下の通りとなります。

前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

| | クレオ マーケティング 事業 | クレオ ソリューション 事業 | 筆まめ 事業 | クレオ ネットワークス 事業 | クリエイトラボ 事業 | 合計 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------|----------------------|---------------|-------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 504 | 612 | 127 | 73 | 498 | 1,816 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 6 | 29 | — | — | 93 | 128 |
| 計 | 510 | 641 | 127 | 73 | 591 | 1,945 |
| セグメント利益又は損失(△) | △142 | △69 | △16 | △46 | 26 | △247 |

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|--------------------|------|
| 報告セグメント計 | △247 |
| セグメント間取引消去 | △12 |
| 全社費用（注） | △49 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △309 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。